



2019年が始まりました。3年生は高校生活を終え、新生活がスタートする大切な1年となります。来週末から始まるセンター試験を皮切りに、この2、3ヶ月でその道筋が決定していきます。3年生の皆さんはここまでよく頑張ってきましたが、これからのあと一踏ん張りが、本当の勝負となります。

2年生は3年0学期：受験生のスタートです。ほとんどの2年生は、センター同日体験受験をする予定ですが、来年の自分の姿をイメージし、センター試験がどのようなものか味わってください。

## ① 【 3学期の主な進路関係行事 】

1/19 (土)	大学入試センター試験 1日目	センター同日体験受験(2年生) 東進19・20日, 河合・駿台20日
1/20 (日)	大学入試センター試験 2日目	
1/21 (月)	● センター試験自己採点 (3年)	
1/26 (土) 27 (日)	大学入試センター試験 追(再)試験	
1/28 (月) ~ 2/6 (水)	国公立大学 個別(2次)試験 出願受付	
1月下旬 ~ 2月下旬	私立大学 一般入試本格化	
1/29 (火)	● 第3回校内実力テスト (1・2年)	
2/4 (月)	● 進路講話 (2学年: 6限 駿台千葉校校長 細谷一史氏)	
2/25 (月) ~	国公立大学 個別(2次) 前期日程試験 発表: 公立大3/1 ~ 国立大: 3/6 ~	
3/8 (金) ~	公立大学 個別(2次) 中期日程試験 発表: 3/23まで	
3/12 (火) ~	国公立大学 個別(2次) 後期日程試験 発表: 3/24まで	
3/19 (火)	● 進路懇談会 (1・2年)	

## ②. 【 1点が明暗を分ける・・・受験生は、1点に貪欲になろう !! 】

進路室には、多くの大学の先生や入試担当者が来校されますが、今春の千葉西高生の詳細な受験結果を提供して下さる大学があります。その結果を目にすると「1点に泣いた人」、「1点に笑った人」の姿が見えてきます。(下表は本校でも毎年100名以上が受験する難関私大の実際の例です)

### ● 1点 (0.3点) に笑った人

〇〇大学 経済学部 経済学科		方式: A方式II日程		合格最低点220. 5点	
千葉西高校A君	英語 73.0点	国語 84.0点	政経 63.8点	合計220. 8点	判定 合格

### ● 1点 (0.2点) に泣いた人

〇〇大学 経済学部 経済学科		方式: センター利用B方式		合格最低点284. 1点	
千葉西高校B君	各科目の内訳は不明			合計283. 9点	判定 不合格

入試では、文字通り1点が合否を分けます。以前の3年生入試ガイダンスで法政大学の方が、入試における『1点の大切さ』を強調しておられましたが、法政大学のある学部・学科では、ボーダーライン付近の10点の間に290人、1点の間に約29人の受験生が集中しているそうです。まさに0.1点の差で合否が決まっているのです。

最後まで粘りに粘り、考え抜いてついに、正解が閃いたり思い出されたりする事もあるでしょう。3年生は、その1点を積み上げるために、努力と忍耐の毎日を送っているはず。解答欄を白紙にせず、少しでも書いて部分点をもらう粘り強さ・貪欲さ、そしてマークミスなど決して犯さない慎重さが求められます。※教室掲示のセンター試験『解答科目欄の不適切なマーク例』も確認して下さい

### ③ 【 最新の入試情報に敏感に・・・ 千葉大学 試験時間の変更について 】

今年は昨年以上に赤本(大学別過去問題集)の貸し出し数が増え、進路室はうれしい悲鳴状態です。センター試験が終わると個別入試が始まりますが、大学ごとの出題形式などを知るためには過去問題研究が欠かせません。ただし、必ずしもこれまでの入試と同型式とは限りません。試験時間・出題範囲などに変更がある場合がありますので、最新の入試情報に敏感であってください。

- たとえば千葉大学では、10月19日に配布開始となった「一般入試学生募集要項」で試験時間に関して以下のような変更が発表されました。(12/27に千葉大のHPで注意喚起されています)

英語：90 ⇒ 80分

国語(国際教養、文、法政経)：90 ⇒ 80分、(教育・中学校・国語)：120 ⇒ 110分

地歴(国際教養、文)：60 ⇒ 80分、(理・数学、薬)：60 ⇒ 50分

理科(教育・中学・理科、理・地球科学、医、看護、園芸、工学部の一部)：120 ⇒ 100分

(理・生物、工学部の一部)：150 ⇒ 130分 (理・物理、化学)：180 ⇒ 150分

小論文(教育・小中・家庭B)：120 ⇒ 100分、ライティング(教育・英語・B)：60 ⇒ 50分



- ・「英語」は例年、90分の試験時間で大問3題(長文読解2題)の構成が続いていましたが、10分短くなるので、問題構成にも大きな変化があるかもしれません。時間配分にも注意が必要です。

### ④ 【 1・2年生も入試方法について知ろう 】

3年生の出願が本格的に始まりましたが、1・2年生は大学入試の仕組みについてまだよく分からない人が多いのではないのでしょうか? 現在の大学入試は極めて複雑化しており、たとえば、日本大学法学部 法律学科に進学したい場合でも、以下のような9通りもの入試方式があります。試験日、募集人員などの違いに注目してください。いよいよ受験生となる2年生の皆さんは、合格に向けて、一般入試に備えた勉強をしつつ、自分が推薦・AOなどの適性を持つか否かも、良く検討してください。

※以下は2019年度入試の例であり( )は募集人員。一般入試のみ他大学・学部・学科との併願可。

#### I. 一般入試

(1) A方式・・・各学部が独自に実施する試験(3教科3科目)

①. 第1期 (135名) 試験日2/7 ②. 第2期 (35名) 試験日2/19

(2) N方式(いわゆる全学部統一入試)・・・同一試験日、同一問題で複数の学部・学科を併願可

①. 第1期 (60名) 試験日2/1 ②. 第2期 (10名) 試験日3/4

(3) C方式(いわゆるセンター受験)・・・大学入試センター試験の得点を利用して合否を判定

①. 3教科型 (30名) ②. 4教科型 (5名)

※他にたとえば経済学部は、センター後に出席できるC方式第2期を、工学、理工学部は、CA方式(センター試験と学部独自の試験の得点の合計で合否を判定する)を設けている。

#### II. 推薦入試 選考日は指定校制、公募制とも11/11

(1) 指定校制・・・指定された高校で推薦を受けた生徒のみ受験できる(千葉西の指定枠は1名)

(2) 公募制・・・推薦基準を満たし、高校で推薦された生徒のみ受験できる(5名)

#### III. AO入試・・・学力だけでなく、学びたいという強い意欲や適性などが重視される入試(10名)

第一次選考は書類選考、第2次選考は9/16 ①講義およびレポート作成 ②口述試験